

令和6年度第5回理事会議事録

招集通知日 令和7年3月19日(水)
開催日時 令和7年3月27日(木)午後6時00分～
開催場所 伊豆の国市商工会本所2階会議室
出席者数 23名(内 監事2名)
欠席者数 12名
出席役員氏名 別添
司会者 松下泰孝(事務局)
議長氏名 土屋雄三(会長)
議事録作成者 川口英昭(副会長)

議事経過と結果

定刻6時00分、事務局長の司会で開始された。検証会資料については行政、学識経験者、全役員に、理事会資料については全役員に事前配布した旨報告確認をした。

「開会のことば」を土屋副会長が行った後、土屋会長が「会長あいさつ」を行った。議題に先立ち、事務局長が令和6年度伊豆の国市商工会経営発達支援計画の検証会に入る旨述べ、西家法定指導員が説明を行うと説明。

事務局西家が、評価者として行政より土屋産業部長、平井商工課長、鈴木係長、県連増田主幹を紹介。北川診断士は所用により遅れることを説明し、到着次第紹介する旨述べた。

本会定款32条5項に準じ、土屋会長を議長に指名。検証会に入った。

(3) 令和6年度伊豆の国市商工会 第3期経営発達支援計画の検証会(最終)

①行政、学識経験者紹介

ワンホープ・ビジネスコンサルティング					
(中小企業診断士)	代表	北川	裕章	様	
伊豆の国市産業部	部長	土屋	政幸	様	
〃 商工課	課長	平井	仁史	様	
〃 〃	商工振興係長	鈴木	悠介	様	
静岡県商工会連合会企画経営課	主幹	増田	浩子	様	

②経営発達支援計画の検証(議長は会長)

土屋議長は事務局に説明を求めた。

○令和6年度伴走型小規模事業者支援推進事業補助金の報告

事務局西家が資料1-1から1-4について説明。

経営発達支援計画に基づく支援事例として別添資料(事例集1-3)を説明した。

・事業内容と支出内訳

令和7年3月1日実績報告 4, 143, 070円

(資料1-1)

・『事業承継支援事業』実施報告会(総務委員会1月30日)

塩野中小企業診断士、総務委員会委員出席/
報告書の説明、今後の方針(取組)について

(資料1-2)

○令和6年度支援事例報告書

(資料1-3)

○令和6年度の実績報告(4月～3月現在まで12カ月間)

・実施報告書(定性、定量報告、今後令和7年度について)

(資料1-4)

・土屋商工会長報告（総括報告）

事務局資料にある様に昨年度、市と共同申請し経済産業大臣の認定を受けた、第3期発達支援計画の定性定量報告および検証であると説明。

本年度の重点テーマ

①地域内経済の循環。

伊豆の国市プレミアム商品券事業、環境配慮型リフォーム事業

②地元企業・個社支援と地域の課題解決の為の部会活動の充実

専門家派遣と職員による地元企業・個社支援の強化推進

市内事業所同士の「個別商談会」や異業種交流による「会員交流会」の実施

③企業訪問隊に見られる、チームを組んだ役職員の事業の推進

会員加入、各種共済の加入、リスク管理、BCPの支援

商工会の自己財源確保

④地元企業の育成

以上実施の報告。

特に、創業支援、経営革新などの新事業展開支援、事業承継支援の3つの支援を最重要課題として、市と連携して取り組んでいる。また今年度、伊豆の国市観光基本計画の策定や第3次伊豆の国市総合計画の策定の準備が進んでいる旨を報告。来年度は、人手不足解消や生産性向上のためのDX支援への取り組みをより加速していきたいと考えていると説明。

最後に、商工会では、国・県・市の様々な施策等を通して小規模事業者を支援している。引き続き、経営指導員等職員の巡回を中心に、より多くの小規模事業者に対して、対話と傾聴を重視した本質的な課題の掘り下げ、内発的動機付けで、経営者の自走化を目指す「経営力再構築伴走支援」を心掛け取り組んでいきたいと総括した。

続けて議長は行政及び学識経験者より講評を求めた。

北川診断士が到着し紹介。

○評価と検証と今後

・ 中小企業診断士 北川裕章 様

- ・ 全般的に伴走型補助金を積極的に活用していると評価できる。
- ・ 特に事業計画策定支援では、事業計画、創業計画、事業承継計画策定と盛りだくさんで、しかも受講後の個別相談や個別巡回を組み合わせており、充実した内容になっている。
- ・ 伊豆の国市商工会は事業承継と創業に継続的に取り組んでいる。事業承継の相談事例は二者とも複雑で容易には進まない案件であり、相談者の事前の検討や準備に大いに資するものと思われる。また創業計画策定も27者と取り組みの成果が出ている。
- ・ また、以下は定量に対する評価と提案。

I 経営発達支援事業の内容

- ・ 全般的に各目標を100%以上の達成しており計画実施に係る努力は高く評価できる。
 - ・ 自己評価の基準が少々厳しく、3→4、4→5とし新たに3で「やや計画を下まわった」とのレベルを設定したらどうか。
 - ・ 定量面だけでなく定性面も自己評価に加えたらどうか。
- 1.地域の経済動向調査に関すること
 - ・ 各項目100%の達成率であり十分達成したと評価できる。
 - 2.需要動向調査に関すること
 - ・ 目標を100%達成し、計画通り実施されている。
 - 3.経営状況の分析に関すること
 - ・ 目標を大きく上回った項目もあり、十分な取り組みだと評価できる。
 - 4.事業計画策定支援に関すること

- ・伴走型補助金を有効活用している。
- ・持続化補助金の公募がない中で策定事業者数の目標を大きく上回ったことは高く評価できる。

5.事業計画策定後支援に関すること

- ・事業計画策定支援件数が目標を上回っているため順当に目標を上回った。
- ・売上増加事業数と粗利益 3%以上増加事業者数が大きく目標を上回った点は取り組みの成果と評価できる。

6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

- ・静岡県商工会連合会の事業をよく活用してほぼ目標を達成している。

II 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取り組み

経営力再構築伴奏支援に際し、対話と傾聴や経営者の内発的動機付け等が明記されている。そのためにはコミュニケーション力の向上が重要になり、DX化支援のためのデジタルスキルの向上と併せた経営指導員等の資質向上が期待される。

・静岡県商工会連合会 主幹 増田浩子 様

- ・「事業計画策定支援」に関しては、経営革新、事業承継、創業、販路開拓、DX支援と万遍なく実施しており、計画策定事業者数も目標以上を達成しているため事業の効果が伺える。
- ・「新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事」については「商工会商品紹介サイト」の売上額が他と比較して少ないため、商工連としてもサイトの充実や運用の見直しを検討するなど、商工会の支援に取り組んでいきたい。
- ・全体について、次年度に向けた取り組みがきちんと検討されており、今後も商工イントラを活用して経営指導員のほか経営支援員などとも情報を共有しながら事業に取り組んでいきたい。

・伊豆の国市産業部 部長 土屋政幸 様

全体を通し目標達成率が計画通り又はそれ以上であった事を確認した。中でも1番の地域の経済動向調査、2番の需要動向調査については事業者にデータ公開する等、適正に情報共有が出来ている事を評価する。3の経営状況の分析を行った事業者数、5の事業計画策定後支援後のフォローアップ数も目標を大きく上回っている事を高く評価する。10の地域経済活性化に資する取り組みでは関連機関との連携や市が委託したプレミアム商品券や事業環境配慮型リフォーム事業でも高い実績を残した事に感謝すると共に高く評価する。令和7年度もプレミアム商品券事業に取り組んでほしい旨述べ、連携を密にし小規模事業者の要望に則した施策の立案などの検討に取り組んでいきたいと述べた。

③その他 ・今後の予定

事務局西家が令和7年度も伴走型補助金申請を検討している。市と連携し、発達支援計画・事業継続力強化支援計画を推進していきたい旨述べた。

議長は以上報告等を踏まえ、意見質疑等を求めたが特になく、この場に限らず意見提案等あれば事務局に申し出るよう述べ本検証会を終了した。

令和7年度 新発達計画の推進と伴走型補助金の申請
市と連携して事業継続力強化支援計画の推進

つづいて松下事務局長が本会定款34条理事会開催要件を満たしている旨報告がされ同条5項に基づき土屋会長を議長に指名した。

(4) 議題

【承認事項】

理事会議案

第1号議案 新規会員加入承認（脱会会員報告）について (資料2)

議長は事務局に説明を求めた。

事務局木村が資料2に基づき新規会員15事業所(開業6カ月未満事業所4件含む)を説明した。併せて資料に基づき脱会会員 31 事業所を報告した。

その後、議長は出席者に質疑を求めたところ特に質疑なく、全員異議無く原案通り承認された。
(理事会承認後、会員数1, 216(菰山 485・伊豆長岡 373・大仁 358))

第2号議案 令和6年度収支補正予算書承認について (資料3)

事務局長が資料3に基づき説明を行った。

議長は出席者に質疑を求めたところ質疑なく、採決を諮った結果原案通り承認可決した。

第3号議案 財政調整資金取り崩しについて

・理由⇒年度初の運営資金が切迫するため

事務局長が年度初めの運営資金が切迫するため取り崩しが必要である旨説明。

議長は出席者に質疑を求めたところ質疑なく、採決を諮った結果原案通り承認可決した。

第4号議案 給与規程の一部改正について

・①給与表（給与月額）、②諸手当（扶養手当、通勤手当） (資料4)

事務局木村が資料4に基づき説明を行った。

議長は出席者に質疑を求めたところ質疑なく、採決を諮った結果原案通り承認可決した。

第5号議案 旅費規程の一部改正について (資料5)

・①役職員の旅費、日当（理由：人事一元化に向け、県連中央値に合わせる）

事務局長が資料5に基づき説明を行った。

議長は出席者に質疑を求めたところ質疑なく、採決を諮った結果原案通り承認可決した。

第6号議案 その他

特になし。

【協議事項】

①令和7年度商工フェアの日時、組織、等について 総(資料2) 理(資料6)

3/24 実行委員会の開催を受けて

事務局齋藤次長が資料に基づき日程・開催場所等について説明。

各部会より代表1名が実行委員会に参加してもらった。資料に記載されている役割分担について各部会で検討頂きたい旨述べた。

②部会・委員会よりの協議事項

事務局西家が資料に基づき説明と確認を依頼。

○総会資料より 全体計画、各部会事業の一覧表 総(資料3) 理(資料7)

議長は各部会長より部会報告と景況について発言をお願いした。

1. 2. 3月度（直近）の景況の報告も含めて

1. 商業部会

杉山部会長が3月4日に部会幹事会開催しR6事業報告、R7事業計画・予算とR7プレミアム商品券事業について共通券専用券の割合、販売所の拡充等協議を行ったと説明。また視察研修場所として、大阪万博・草津温泉・寸又峡などの意見が出た旨述べた。

景況について物価高騰の中4月より更に各種値上げが行われることを懸念していると述べた。

2. 工業部会

浅田部会長が3月26日部会幹事会開催しR6事業の総括と新年度予算・事業計画について協議を行い、工業部会を知ってもらふ事等を目的として異業種交流会の開催の計画を説明。

4月22日に沼津市商工会の工業部会長と面会し連携した取り組みが出来ないかなど協議予定と説明。

景況について紙の出荷額は前年同月比2%マイナス。10年ぐらい続いている。ピーク時から比べると半分以下となっている旨説明。

3. 建設部会

矢岸部会長欠席の為、望月副部会長が環境配慮型リフォーム助成事業は予算に達しすべての案件を3月17日の最終審査会で確定した事を報告。

3月28日部会幹事会開催と幹事会終了後、次年度の環境配慮型リフォーム助成事業説明会開催を説明。部会幹事会では、事業計画・総会日程等について協議すると説明。

景況について需要は例年通りであるが人手不足により事業進捗が困難である旨の説明。

4. 観光サービス部会

稲村部会長が3月26日部会幹事会開催しB to B商談会を始めとしたR6事業の振り返りとR7事業として7月10日に旅館対象とした商談会、10月15日に飲食関係・観光事業者向けの商談会開催を計画と商工フェアでの担当業務について情報共有を行ったと説明。

景況については美しい伊豆創造センターからの報告で伊豆全体の宿泊者数は3月末でコロナ前位に回復しているとの事。伊豆長岡温泉では宿泊者数は若干減っているが単価が上がったことで総売上では維持できている。飲食関係では物価の値上がりが大きく響いていると説明。

5. 青年部

青年部長欠席の為、事務局西家が3月30日部内研修事業としてキャッシュフローゲーム研修の実施とR7事業として4月25日大仁くぬぎ会館に於いて青年部総会開催と11月15日におらがまちの職を知ろう事業を市内3中学校同時開催に向けて計画していると説明。

6. 女性部

土屋部長が3月27日役員会開催し来年度事業について協議し、4月25日大仙家に於いて女性部総会開催、6月16日視察研修旅行、7月1日ブランドギフトの発送、8月に高校生の起業家によるSNS講習、9月に伊豆の国市で行われるNHKのど自慢出場を目指してダンスの講習を予定していると説明。7月のブランドギフト事業では理事役員さんの注文をお願いした。

④その他

・令和7年度地域活性化振興補助金の運用について 総(資料4) 理(資料8)

事務局鶴見が資料に基づき変更点について説明。

土屋会長が旧3町に対しての平準化を図り公平に採択していきたい旨述べた。

・その他

特になし

(5) 報告事項

①第64回商工会全国大会／表彰状の伝達／県連新春祝賀会にて伝達あり（R7/1/22）

事務局長が表彰者について発表し、代表として川口副会長に土屋会長より伝達を行った。

◇県知事表彰	前会長	<small>おおさわひでみつ</small> 大沢秀光 氏
◇全国商工会連合会長表彰	副会長	<small>かわぐちひであき</small> 川口英昭 氏
	理事	<small>あさだ たかし</small> 浅田 孝 氏

- 理事 つちだ さとる 土田 哲 氏
 理事 もちづきよしのり 望月良則 氏
 ◇静岡県商工会連合会長表彰 理事 まえだやすひろ 前田泰宏 氏
 理事 やぎし あきら 矢岸 明 氏
 理事 せりざわなおき 芹沢直輝 氏

②その他

- ・部会幹事会の開催と部会総会のお願い
事務局長が下記のスケジュールを説明。
 R 6 事業報告、決算、R 7 事業計画、予算 → 4月総務委員会までに
- ・R 7 プレミアム商品券事業について (3/4 商業部会幹事会結果等)
事務局鶴見が概要を説明。
- ・理事の辞任の補欠選任の件。原泰之理事-商業部会 (令和7年総会上程議案)
事務局鶴見が原泰之理事の辞任を報告。
- ・R 6 伊豆の国ブランド商品支援事業費補助金と伊豆の国ブランド振興会事業の報告
 まるっと伊豆の国通販サイトについて
事務局鶴見が今後のサイト運営について説明。
- ・エロイカジャパン R7. 4/12. 13 広報協力 (ポスター配付)
事務局長が広報協力 (ポスター掲示) をお願いした。
- ・第3次伊豆の国市総合計画 (期間) R8~R15 / 第2回審議会 2/27 / 会長は委員
事務局長が報告
- ・市観光基本計画 (案) (期間) R7~R11 / パブリックコメント (R7. 2/17~3. 17)
事務局長が報告

(6) 令和7年度事業について

- ①市補助金について / 3/14市議会最終日採択 総(資料7) 理(資料9)
事務局長が資料に基づき採択結果を報告
- ②令和7年度『第3期伊豆の国市商工会経営発達支援計画』の実施 / 3年目
事務局西家が説明。
 - ・創業支援事業 (伊豆の国市創業支援基本計画と共に)
 - ・事業承継支援事業
 - ・経営計画作成支援事業 (経営革新、DX事業含む)
 - ・商品等 (伊豆の国ブランド関連) 開発と販路開拓支援事業
 - ・令和7年度伴走型補助金の申請へ
- ③令和7年度『第1期伊豆の国市商工会事業継続力強化支援計画』の実施 / 4年目
事務局次長が説明。
 - ・個社のBCPなど計画策定支援 / 伊豆の国市防災協力会に向けて

(7) その他

- (1) 県連人事異動通達など。(令和7年4月1日付け)
事務局長が伊豆市商工会より鈴木麻紀子さんが異動、パート職員白井千秋さん退職、久慈ひろみさんパート新規採用を説明。
- (2) 次回開催予定
事務局西家が日程を説明。
 - ・総務委員会 4月度 令和7年4月18日 (金) 本所 16:00 ~
 - ・理事会 第1回 令和7年4月28日 (月) 本所 19:00 ~
 - ・通常総会 令和7年5月22日 (木) 14:00受付 15:00開催予定
 菫山時代劇場大ホール
 - ・事業会計監査 令和7年4月23日 (水) 10:00 ~
 正副会長、林監事、小林監事

事務局長が土屋顧問より依頼があった保護司会、会員募集の案内・協力をお願いした。

終わりにあたり川口副会長より閉会のことばが述べられ本日の第5回理事会の議題は全て終了した。

20時10分終了